

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		「働くまち鎌倉」「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」を実現する	鎌倉市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	中高生向けのボランティア中間支援センター『CanVas』		

(注1)地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2)アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	寄りどころ×試しどころ CanVas		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 ドロップダウン選択→		2.学生
チームメンバー数(公開)	5名		
代表者(公開)	須釜杏菜		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名(メンバー一覧ページを参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 → OK

<チームメンバー名簿:メンバー一覧ページ>

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

鎌倉市は「若年層の転出超過」が課題です。若年層が働くまち鎌倉、住みたい・住み続けたいまち鎌倉を感じられるよう中高生が就職する前から、地域活動やボランティア活動に取り組める中間支援組織「CanVas」を結成・運営しています。中高生が好むデジタルツール（インスタ、X、LINE）を用いて中高生の参加者と連絡を取り合い、情報発信し、商店街や社会福祉協議会などと連携を取りながら、活動を行っています。これにより、就職しようとする年齢になったとき、まちづくりをしていきたく鎌倉に、働きたい・住みたい・住み続けたいと感じられるようになると考えています。

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみる）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

鎌倉を中心に、中高生向けのボランティア中間支援センター『CanVas』を結成し、運営しています。

成人向けのボランティア中間センターと違うことは、1 つ目に中高生が好むデジタルツール・SNS を用いているということです。生活の中でパソコンはほとんど使わず、スマートフォンで暮らしている中高生の行動に合わせて、インスタや X、LINE で情報発信したり、参加者の中高生と連絡を取り合って運営しています。

2 つ目に、中高生も自分の進路に悩んだり、自分もボランティア活動・まちづくり活動をやってみたいと思う人は多いと思います。しかしながら、窓口相談したりする勇気がなかったり、年齢が高いスタッフの方に相談したりする勇気がなかったりして、なかなか腰があがりません。そこで、当団体『CanVas』は全員大学生が運営しています。少し年上のお兄さん・お姉さんに日々の悩み相談をしたり、雑談したり、勉強を教えてもらったりする中で、地域活動に取り組めるような体制をとっています。

3 つ目に、地域との連携です。町の商店街や、社会福祉協議会などとは、運営メンバーがリアルに密に連絡を取り合い、（シャイな中高生に代わって）ボランティア活動の情報について、打ち合わせをしています。

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

※このアイデアを提案する理由(なぜ)を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

<参考: 以下のように理由を書いていきます>

※根拠: このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け: その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。(定性データを含めて歓迎)

生活の中でパソコンはほとんど使わず、スマートフォンで暮らしている中高生の行動



中高生向けのデジタルツールに特化して運営
(年齢層が異なる大人にはわからない)

中高生も自分の進路に悩んだり、自分もボランティア活動・まちづくり活動をやってみたい



全員大学生が運営

地域との連携



これはしっかり、コアメンバーが行う。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

※このアイデアを提案する理由(なぜ)を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

鎌倉市は「若年層の転出超過」が課題です。若年層が働くまち鎌倉、住みたい・住み続けたいまち鎌倉を感じられるよう中高生が就職する前から、地域活動やボランティア活動に取り組める中間支援組織「CanVas」を結成・運営しています。中高生が好むデジタルツール（インスタ、X、LINE）を用いて中高生の参加者と連絡を取り合い、情報発信し、商店街や社会福祉協議会などと連携を取りながら、活動を行っています。これにより、就職しようとする年齢になったとき、まちづくりをしていきたい鎌倉に、働きたい・住みたい・住み続けたいと感じられるようになって考えています。

2. アイデアの説明（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

中高生向けのボランティア中間支援センター『CanVas』

ヒト

大学生のボランティアメンバーで運営

モノ

まちづくり補助金を活用
無料のデジタルツールを
活用し広報・連絡ツールに

カネ

古民家再生プロジェクトと
連携（事務所・運営スペース
を間借りしている）